

目次 Contents

- 3 新型コロナウイルスワクチン接種はお済みですか？
- 4 まちの話題
- 5 洪水ハザードマップを改訂しました
- 6 自治医科大学附属病院連携協働コラム
- 8 保健便り
- 10 文化活動及びスポーツ活動における表彰制度
- 11 障がい福祉瓦版
- 12 レッツスポーツ
- 14 新・下野市風土記
- 15 生涯学習だより
- 16 地域おこし協力隊通信
- 17 環境トピックス
- 18 図書館だより
- 20 国民年金だより
- 21 暮らしの情報
- 30 10月のカレンダー
- 31 キプロス通信
- 32 イベントカレンダー

※掲載写真の一部は、撮影時のみマスクをはずしています。

今月の表紙

高校生まち歩きマップができました

今月の表紙は、市内の賑わいづくりと若者の地域定着のために、近隣の高校生有志が地域の課題に取り組む『Cross the Bridge』の活動の様子です。

市内外の高校生17名は、昨年からワークショップを行ってきました。新型コロナウイルス対策としてオンライン取材も交えつつ、JR石橋駅周辺のまちを実際に歩き、店舗を取材して、まち歩きマップを作り上げました。マップは市ホームページで

ご覧いただけるほか、石橋公民館や図書館、石橋駅周辺の協力店舗などで配布しています。

『Cross the Bridge』の次の活動は、JR小金井駅周辺のまちおこしプロジェクトとして、店舗などのPRポスターを制作します。クリエイターと一緒に企画から取材、撮影まで行っていただく、新たな高校生を募集中です。詳しくは26ページをご覧ください。

今月の何の日

10月30日 宇宙戦争の日

1938年のこの日、アメリカのラジオ番組で、H. G. ウェルズのSF小説をもとにしたラジオドラマ『宇宙戦争 (The War of the Worlds)』が放送されました。

名優オーソン・ウェルズが手がけたラジオドラマは、19世紀のイギリスの物語を、1938年のアメリカに置き換えたものでした。他の番組を中断しての緊急ニュースという体裁で、実在する村の農場の近くに宇宙船が着陸し、中から現れた火星人が住民を殺害したとウェルズ演じるキャストが伝えたところ、その描写があまりにも真に迫っていたため、リスナーの多くが、本当に火星人が襲来したと信じ、死者まで出るパニックに陥ったとされてきました。

しかし、近年の研究では、『宇宙戦争』がそのようなパニック現象を引き起こした事実はなかったことが明らかにされています。全国の警察に問い合わせの電話が殺到したり、火星襲来の舞台とされた村に見物客が集まったりはしましたが、それ以上の騒動に発展した証拠はありません。

パニック説は、新興のメディアであるラジオの評判を落とすために、新聞が誇張した記事を書いたことから生まれたと言われていました。

現在は、新聞やラジオに加え、テレビ、インターネット、SNSと、情報の真偽を確かめる手段には事欠きません。一方、フェイクニュースも無数に存在します。デマや噂に惑わされないためにも、複数の情報を読み比べ、正確性を判断することが大切です。

■人口と世帯（9月1日現在）

人口／60,167人（-17）、男性／29,928人（-13）、女性／30,239人（-4）、世帯数／24,993世帯（+10）

